

自分たちの地域・まちを育てよう！

日本をはじめ、世界の情勢はとても厳しい。米国で発生した金融問題が、100年に1度の世界大不況の原因でもあります。当然、宮崎も影響下にあります。国民や社会も、「今までの右肩上がりの社会の発想や活動方法では通用しなく、新しい発想や取り組みが必要だ」との認識は定着してきました。これからの大切な考え方として、循環型社会、自然との共生、自立、総合的視点とバランスある取り組み、住民参画・住民主体、まち・地域づくり、人間力の活用、国際協調などがあげられます。この度、共存共栄の循環型社会をめざして、自然農法やEM技術の活用を軸に活動されている永峰典隆氏を迎えて、講演を行います。

ご参加をお待ちしています。

講演会

テーマ: 共存共栄の循環型社会を目指して

“大自然の生命を大切に作る心と 自然農法・EM技術の活用”

日時：平成21年9月12日(土)

午後3時～4時30分

場所：南九州大学高鍋キャンパス

第812号教室(学生会館の隣棟)

講師：九州EM普及協会

代表 永峰 典隆 氏

参加費：無料

* EM活動は多分野にわたりますが、主な農業分野と環境分野について紹介します。農業分野では畑作、稲作、果樹・茶、水産養殖業、畜産業、緑化事業、堆肥化事業、家庭菜園、環境分野では環境教育、家庭利用、建築利用、介護利用、事業所利用、河川浄化、排水処理ペットなどに取り組んでおられます。

* 全国の1817の市町村の内、469の市町村がEMの活用、あるいはEMの助成をしています。

(平成18年10月1日現在)

*問い合わせ：EMネットみやざき事務局(坂田佐一郎：0983-22-1460)

主催：EMネットみやざき 協力：南九州大学環境造園学部造園学科